

# 史料初公開 時期探る

## 100周年や大河「今年中に」

府が14日、独自基準「大阪モデル」に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大を受けた休業要請の大幅解除を決めた。府内では、各市で計画されていた貴重な史料の初公開が相次いで延期されたが、解除に伴い早期公開に向けて前進した。ただ、緊急事態宣言は継続中のため、時期について慎重に検討する市もある。

(阿部健)

### 休業要請大幅解除

■「ザビエル像複製画」  
 茨木市北部の千提寺地区。キリスト教徒が江戸時代の禁教下でも信仰を守った「隠れキリシタンの里」で、1920年(大正9年)に宣教師フランシスコ・ザビエルの肖像画(国重要文化財、神戸市立博物館所蔵)が見つかった。今年で100年となるのを記念し、市は精密な複製画を制作し、3月25日～6月1日に地区内の市立キリシタン遺物史

料館で初めて展示する計画だった。

だが、感染拡大のために一日も公開できず臨時休館に。府の決定を受け、史料館は近く再開する可能性があるが、展示室は約30平方メートルと狭く、団体客の来館などで密集状態になる恐れもある。市教委は「感染リスクの予測は難しい」とし、府が示す感染防止のためのマニュアルなどを踏まえ、公開時期を決めるという。

隠れキリシタンの子孫で千提寺自治会の中谷光会長(69)は「地域が盛り上がる大和などを勢力下に置いた久秀は、江戸時代の軍記物などで残忍な人物として描かれてきた。近年の研究では、主君に忠実な役人だった。

きっかけになる。100周年の今年中には、何とか公開してほしい」と話す。

### ■松永久秀の肖像画

高槻市では、高槻出身とされる戦国武将・松永久秀の肖像に近いとみられる肖像画を3月7日～5月10日に市立しろあ歴史館で初公開する予定だったが、臨時休館中に会期が終わった。

った可能性が指摘され、そのイメージに近い肖像画は久秀の人物像を探る貴重な史料として注目される。

市は歴史館の再開に合わせて展示を始める方針で、会期を再調整している。久秀はNHK大河ドラマ「麒麟がくる」にも登場しており、歴史館では「ドラマの放映中にぜひ多くの人に見てもらいたい」という。

### ■キリシタン墓碑

八尾市が所蔵する安土桃山時代の「満所キリシタン墓碑」は3月に府指定文化財となり、4月25日～7月13日に市立歴史民俗資料館で公開が予定されていた。



国重要文化財「聖フランシスコ・ザビエル像」の複製画(茨木市で)



②実像に近いとみられる松永久秀の肖像画(高槻市で) ①全国でも2番目に古いキリシタン墓碑=八尾市教委提供



銘文などが刻まれ、製作年代の明らかなキリシタン墓碑では全国で2番目に古い。高約89センチ、幅51センチは国内最大級で西洋文化などがどう受け入れられてきたかを知る重要な史料とされる。

これまで個人が所蔵し、昨年4月に寄贈され、市の所蔵となったから初公開となる。市教委は「できるだけ早く見てもらえる機会をつくりたい」としている。